

中国幼稚園園長専門性基準

本基準は、「中華人民共和国教育法」およびその他の関連する法律や規則に従い、幼稚園園長の専門性発達の促進や、高い素質を持つ幼稚園園長チームの構築、さらに就学前教育の改革と発展を促進するために策定した。

幼稚園園長は幼稚園をリードしたり、管理したりする専門家である。本基準は、良質な幼稚園園長の専門的素質の基本的要求基準であると同時に、幼稚園園長の専門性発達の基本基準でもある。また、本基準は幼稚園園長の資格の基準、研修カリキュラムおよびその評価の基準を開発するための重要な根拠となる。

一、理念

(一)「道徳」を第一に

社会主義と共産党の教育に対する先導を元に、共産党と国家の教育方針と政策を実施し、社会主義の核心的価値を幼稚園の仕事に取り入れ、法律に基づいて園長の権利と義務を果たし、子どもの権利を保障する。就学前教育と幼稚園管理という仕事を愛し、国家へのサービスと国民へのサービスという社会責任と使命を持つ。職業の道徳規範に準じ、道徳で子どもを育て、幼児を気遣いながら愛護し、教職員を尊重し、保育者として、勤勉、公正、誠実を保つ。

(二)子どもを中心に

「子どもを中心に」という理念を貫き、子どもの幸せのため、また有意義な子ども時代を過ごせるように、「子どもの幸せや健康の成長を促進すること」を幼稚園サービスの出発点、そして目的とする。すべての子どもに対し、異なる民族、人種、性別、身体状況や家庭状況に平等な待遇を提供する。また個々の違いを尊重し、適切な教育を提供し、子どもの個性や全面的な発達を促す。そして全ての子どもが質の高い教育にアクセスできるように、合理的な子ども観と教育観を持つ。

(三)発展を導く

幼稚園園長は幼稚園の改革と発展のリーダーとして、幼稚園の発展と保育者の熟達をリードする責任がある。幼稚園の正しい発展方向を把握し、法律に基づき、幼稚園の規則や規制を改善し、システム理論的管理と民主的管理を実施し、幼稚園の持続的な発展を促す。そして保育者の専門性発達の規律を尊重し、保育者の自発的成長の動機づけを促す。

(四)能力を重点に

先進的な教育理念と管理理念を持ち、園長としてのリーダーシップと実行力を向上させる。また幼稚園の発展計画、教育や文化の営み、保育や教育のリード、保育者の成長のリード、内部管理の最適化、外部環境の調整に関する能力を向上させる。さらに実践と反省のプロセスを繰り返し、自身の専門的能力を向上させる。

(五)生涯学習

生涯学習の観念を持ち、生涯学習を園長の専門性発達や職務改善のための重要経路とする。専門知識の構造を最適化し、科学文化や芸術などの教養を向上させる。常に国内外の就学前教育の改革と発展の傾向を把握する。学習型組織の構築に力を入れ、幼稚園を園長、保育者、保護者、そして幼児がともに成長できる家のような場所とする。

二、専門性の要求

専門性の責任	専門性の要求	
一 幼稚園の発展計画	専門的な理解と認識	<ol style="list-style-type: none">1.就学前教育は公共の福祉であり、包括的であるとし、就学前の子どもの心身健康、習慣形成、知能の発達に大きな意義を持つと認識する。2.幼稚園の発展計画の策定と実施を重視し、教職員と協力しながら、共通の発展ビジョンを構築し、発展の目標を明確にし、協力体制を形成する。3.幼児教育の規律を尊重し、幼稚園の良い伝統を継承し、幼稚園の状況を考え、地域の特徴を生かして良い園を作る。

	<p>専門的な知識と方法</p>	<p>4. 国家の教育政策と関連する法律や規則をマスターし、「幼稚園保育規定」「幼稚園教育指導要領(試用版)」「3-6歳児の学習と発達指針」およびその他の就学前教育関連政策を熟知する。</p> <p>5. 良質な幼稚園の成功体験を学ぶために、国内外で就学前教育の改革と発展の基本的な傾向を理解する。</p> <p>6. 幼稚園の発展と計画、実施と評価における理論と方法、および技術をマスターする。</p>
	<p>専門的な能力と行為</p>	<p>7. 幼稚園の現状を把握し、幼稚園の発展に直面する問題や課題を分析し、幼稚園発展のイメージを形成する。</p> <p>8. 専門家、保育者、保護者、コミュニティメンバーなど多方面の力をまとめ、幼稚園の発展計画を作成する。</p> <p>9. 発展計画に基づき、保育者が学年、学期の教育計画を作成、実施し、作成、実施に当たって人事的・経済的・道具的サポートを提供する。</p> <p>10. 幼稚園の発展計画と実施プロセスとその成果をモニタリングし、作業計画を調整する。</p>
<p>二 教育の 文化を 営む</p>	<p>専門的な理解と認識</p>	<p>11. 文化的な子どもを育てるということを幼稚園の重要な内容と方法として、幼児の身体、知能、道徳、芸術の各方面での協調的な発達を促進する。</p> <p>12. 幼稚園において文化の継承という教育機能を重視し、中国の伝統文化を幼稚園文化の構築を取り入れる。</p> <p>13. 保育者に尊敬と思いやりをもち、人間の尊厳を反映し、幸せと調和の取れた保育教育の文化構築の中核として、子どもの感情を育て、子どもたちの知恵を育む。</p>
	<p>専門的な知識と方法</p>	<p>14. 自然科学、人文・社会科学の知識を持ち、道徳的人格と芸術の教養を持つ。</p> <p>15. 幼稚園文化構築の基本理論、幼稚園教育に優れた文化を取り入れる方法とそのプロセスを把握する。</p> <p>16. 子どもの心身発達の特徴を把握し、子どものユニークな表現方法を理解し、受け入れる。</p>

	<p>専門性 な能力 と行為</p>	<p>17.園の理念を反映できる自然環境と人的環境を作り、積極的、寛容で優しい、愛情のある、そして健康的で活発な園風土を形成する。</p> <p>18.保育者と子どもたちの感情を育み、保育者に良質な心的・文化的作品や子ども向け作品を推奨する。保育者に悪質な負の文化的影響を防止する。</p> <p>19.幼児の心身発達の特徴と身につける能力に基づき、学習を愛する、勤労を愛する、母国を愛することを幼児園の1日の生活と遊び活動に取り入れる。</p> <p>20. 幼児園の文化的結束力を構築し、そこに子どもたちが積極的に参加することを奨励し、保育者が主導的にその役割を發揮し、社会(コミュニティ)や家族が幼児園文化の構築に関与することを奨励する。</p>
<p>三 保育や 教育の リード</p>	<p>専門的 な理解 と認識</p>	<p>21.保育と教育の統合という基本的原則に従い、幼児の安全と健康を第一にし、幼児期の発達に合わせた合理的な期待を持つ。</p> <p>22.遊びと生活に特有の価値を大切にし、子供の好奇心と学習への関心を尊重し、保護する。幼児への良質な学習を重視する。他者との交流や社会的な適応を子どもの社会性発達の準備として重要視する。小学校の教育内容の教授を禁じ、幼児園の「小学校化」傾向を防ぐ。</p> <p>23.保育者の保育や教育経験と知恵を尊重し、積極的に保育と教育の改革を推進する。</p>
	<p>専門的 な知識 と方法</p>	<p>24.異なる年齢の発達目標と幼児園の保育と教育目標を把握する。</p> <p>25.幼児園の環境を熟知し、幼児園の1日の生活、遊びなどの教育活動の計画と実施する知識と方法を熟知する。</p> <p>26.国内外の幼児園の保育と教育の発展状況と改革を理解し、教育情報技術を幼児園管理と保育教育活動に応用するための一般的な原則と方法を理解する。</p>

	<p>専門性 な能力 と行為</p>	<p>27.保育教育に関する規定に則り、幼稚園の実際の状況に応じて保育教育の活動案を作り、合理的に実施する。</p> <p>28.カリキュラムの組織と管理能力を持ち、幼稚園の保育者がそれぞれの子どもの発達のニーズに応じて、個に応じた教育案を作成し、柔軟かつ多様な教育活動を計画、実施する。</p> <p>29.園長がクラスに入り、保育教育活動を指導する体制を確立させ、日常生活と活動の観察などの方法を用いて、保育教育の状況を理解、評価し、そして有効なフィードバックを行う。</p> <p>30. 保育教育の研究活動の実施をリードし、保障する。保育教育の水準を向上させる。</p>
<p>四 保育者 の成長 のリード</p>	<p>専門的 な理解 と認識</p>	<p>31.保育者の一人ひとりを尊敬し、信頼し、団結し、認める。保育者間の団結と協力を促進する。</p> <p>32.園長が保育者の専門性発達過程における指導的な役割を重視し、教育者の専門性発達を促し、積極的にサポートする。</p> <p>33.保育者の専門性発達の共同体として明確な意識を確立させる。</p>
	<p>専門的 な知識 と方法</p>	<p>34.幼稚園保育者の専門性素質の要求を把握し、職業の権利と義務を明確する。</p> <p>35. 幼稚園の保育者の専門性の発達段階過程とその特徴に精通し、保育者に保育教育の実践と研究の方法を指導する。</p> <p>36.園内研修、協同学習などの学習型組織の構築方法および保育者の自発的な発達を促す方法を把握する。</p>

	専門性 な能力 と行為	<p>37.保育者の専門性発達のニーズを理解し、積極的に在職研修に参加することを促し、保育者の専門性発達に対する良質な環境と条件を提供する。</p> <p>38.保育者の専門性発達の評価システムを作成し、教育と研修の一体化体制を確立させ、一人ひとりの保育者に 5 年あたり 360 時間以上の研修を実施する。</p> <p>39.優れた道徳心と倫理観を持ち、保育者の職業倫理要件と職業倫理に反する行動の処理方法を実施する。保育者の理想と信念を支持し、知識を高め、愛情を持ち、保育者の精神領域の向上を目指す。保育者の法律意識を強化し、子どもに差別、虐待、体罰(疑似体罰を含む)など心身的なダメージを与える行動を厳しく禁ずる。</p> <p>40.教職員の権利と待遇を維持し、保護する。教職員の心身の健康をケアし、良質な保育と教育行動に対する奨励金制度を確立させる。</p>
五 内部の 管理の 最適化	専門的 な理解 と認識	<p>41.幼稚園は法律に基づき、自発的に教職員、保護者や地域社会の監督を受ける。</p> <p>42.道徳的に幼稚園を管理し、園長が模範を示し、園長の人格的魅力や専門性を管理において積極的に発揮させる。</p> <p>43.幼稚園管理の規律を尊重し、合理的管理と民主的管理を実施する。</p>
	専門的 な知識 と方法	<p>44.国家の幼稚園管理に関する法律や規則、政策の要件、園長の責任を把握する。</p> <p>45.幼稚園の経営の基本知識に精通し、幼稚園の管理の先進的な経験を学習する。</p> <p>46.幼稚園の園舎の計画、衛生と保健、セキュリティ、スタッフの管理、財務資産の管理の方法と実務を把握する。</p>

	<p>専門的な能力と行為</p>	<p>47. 幼稚園管理職のリーダーシップの形成し、共産党の幼稚園の重大な決定に関する意見に耳を傾け、政治的中核としての役割を十分に発揮する。</p> <p>48. 幼稚園管理の規則や規制を確立させ、完成させる。保育者、保険医、セキュリティスタッフ、調理員や他の仕事の責任を厳格にし、幼稚園の標準化された管理と合理性を向上させる。</p> <p>49. 教職員総会あるいは、教職員代表会議制度を構築し、園内管理の公開化、幼稚園の経営に関する教職員の民主的権利を尊重し、保護する。また条件があれば、園のニーズに応じて、幼稚園事務委員会を設立する。</p> <p>50. 幼稚園の緊急事態への対応規格や対応案を確立させ、定期的な安全訓練を行い、教職員が適切に自然災害、公衆衛生、事故やその他の緊急事態に対応できるように指導する。</p>
<p>六 外部 環境の 調整</p>	<p>専門的な理解と認識</p>	<p>51. 家族は幼稚園の重要な協力パートナーであることを理解し、積極的に両親の理解、支援と自発的な参加を求め、家と幼稚園で共に子どもを育てることを促進する。</p> <p>52. 自然環境と社会(コミュニティ)の教育資源の使用に重点を置く。幼児の生活や学習のスペースを拡張する。</p> <p>53. 社会生活の中で子どもの十分な参加を導き、生活経験を豊かにして、社会性発達を促進する。</p>
	<p>専門的な知識と方法</p>	<p>54. 幼稚園と保護者、関連コミュニティと関連部門と効果的にコミュニケーションを取り合う。</p> <p>55. 社会(コミュニティ)の教育資源の機能や特性に精通する。</p> <p>56. 保育者が幼児の家庭教育の基本的な状況を理解できるように指導し、保育者が「家と幼稚園で共に子どもを育てる」ことに関する知識と方法を習得できるように指導する。</p>

	<p>専門性 な能力 と行為</p>	<p>57. 幼稚園と外部の協力者との交流に関する規格を確立させ、幼稚園を開放し、幼稚園と家族、社会(コミュニティ)、および幼稚園間の良質な相互体制を形成する。</p> <p>58. 家族と社会(コミュニティ)に向け、合理的に育児するための指導や宣伝を展開し、保護者学級、保護者会、保護者開放日などの方法を用いて、保護者に幼稚園の保育教育を理解していただけるように努力する。家庭教育指導を行い、多様な方法を用いて、保護者の教育理念を育て、保護者がより合理的に育児できるように努力する。</p> <p>59. 幼稚園と社会(コミュニティ)の関係を強化し、文化、交通、消防や他の部門の社会教育資源を使用し、幼稚園の教育活動をより豊かにする。</p> <p>60. 保護者委員会及び社会に関する各方面が幼稚園の教育、管理に参加することをリードし、合理的なアドバイスを受け入れる。</p>
--	----------------------------	--

三、実施するアドバイス

- (一) 本基準は、公立と私立の幼稚園の園長と副園長に適用される。各省、自治区、市町村の教育行政部門は、本基準に基づいて、地域の実際の状況に合わせて実施するアドバイスを策定できる。
- (二) すべての教育行政部門は、本基準を幼稚園園長チームの構築と管理における参考として重視する。また就学前教育の改革と発展のニーズに合わせて、本基準の先頭に立つ役割と方向性を導く役割を発揮し、幼稚園園長チームの構築計画を作成する。さらに幼稚園園長の厳格な資格、園長の選択と任命制度を改善する。そして幼稚園園長研修の質を保証するためのシステムを確立させ、合理的かつ効果的な幼稚園園長チームの構築と管理システムを形成し、就学前教育の発展を促進する制度の保証を提供する。
- (三) 幼稚園園長研修センターは本基準を園長研修の主たる根拠として扱う。園長という職業特性を重視し、関連する分野や専門知識の学習を強化する。園長の専門性発達段階の様々なニーズに応じて、研修のカリキュラムを改善し、合理的

にカリキュラムを設計し、研修の形式と方法を改革する。園長の専門性発達を促進するため、園長研修のディレクターチームの強化と園長の専門性発達の科学研究を行う。

- (四)本基準を幼稚園園長の専門性発達の基本的な基準とする。自身の専門性発達の計画、職業への敬愛、専門性発達の自覚性を強化する。園長研修や自主的な研修に自発的に参加し、専門性の水準を向上させ、就学前教育や幼稚園の経営と管理の専門家になるため努力する。

日本語訳： 呂 小耘

日本語チェック： 児玉 佳一

(2016年2月)